



No.171

2018年3月26日(月)
連合奈良北和地域協議会
発行/〒630-8325
奈良県奈良市西木辻町 93-6
エルトピア奈良内

代表者/桐木正明 ■ 編集者/森山欣哉

親の介護に備えての勉強会

2月22日(木)北和地区労福協と北和地協の合同で、「親の介護に備えた勉強会」をエルトピア奈良で開催した。勉強会は役員・幹事対象で20名の参加があった。勉強会は、**ご両親に介護が必要となったとき** ①誰に頼れそうですか？ ②ご両親の年金、資産をご存じですか？ ③ご両親の暮らしのイメージは？3点について80分の講演と質疑応答で有意義な勉強会となった。



高齢社会における暮らしの現状

1. 高齢者世帯は、「独居」もしくは「高齢者夫婦」での暮らしが多数
2. 高齢者世帯の「男性8人に1人」「女性は5人に1人」が独居世帯
3. 高齢者世帯は、「一戸建て」に居住しているケースが多い

介護とは

1. 疾患による治療が終わった段階で、介護サポートが必要となることが多い
2. 加齢に伴う状態の変化により、介護サポートが必要となることもある
3. いざ介護が必要となる前に、さまざまな情報を知っておくことが大切

介護保険サービスの利用と種類

1. 介護サポートが必要となれば、まずは介護認定取得しましょう
2. 要介護度に応じた介護サービスをケアマネジャーと相談しましょう
3. ただし、自宅での介護サポートは重度になれば「家族サポート」が不可欠となります

まとめ

1. 介護は他人事ではありません
医療へはみなさん備えられますが、介護への備えには疎い
2. 高齢者の暮らし方は多様化。必要時は専門家へ相談
介護サービス利用時は、まずは行政もしくは地域包括支援センターへ相談
最適な暮らし方を考えるためには、さまざまな情報を把握し比較が必要
ただし、違いが分かりにくいいため、専門家への相談が一番近道



<講師紹介>

清水稚佳子氏

(アットウィルシニア事業部副部長)

